

第105回運営委員会概要 8月17日(水) 18:30~21:30

- ◆会場：柏崎原子力広報センター 研修室
 - ◆出席委員：新野・石坂・川口・三宮・竹内・武本(和)・徳永・前田運営委員・・・8名
 - ◆オブザーバー：保安院／竹本前所長・飯野新所長・熊谷検査官 エネ庁／磯部所長
東電／長野副所長・西田技術担当・宮武
 - ◆事務局：広報センター／井口業務執行理事・石黒主事
-

視点50号(第97回定例会分)について

- ・原稿を委員で確認
- ・事務局案を更に校正して校了

次回以降定例会の内容について

◆9月以降定例会の内容について

- 〈議長〉今後の定例会の内容について。どのようにしていけばよいか。
- 〈委員〉福島原発の事故がメディアでもいろいろ取り上げられ、一般市民の原子力に対する信頼がなくなっている。保安院と東京電力からわかっている状況について聞かせてもらい、地域の会の委員としてどう考えるか。放射線の風評被害などの問題に対して取り組んでいけばよいのではないか。
- 〈委員〉9月の定例会の頃には明確な内容が少しはわかるのではないか。
- 〈委員〉福島の農産物から検出された放射線の値、新潟県でも各地で放射線が検出されている。検出された地域や検出方法も報道は断片的。地域の会で放射線などを話題にしてオープンになることに問題はないか。慎重に扱わなければいけないのではないか。
- 〈委員〉米の収穫時期を迎え、今月末から新潟県でも検査が実施される。新潟県からどのような取り組みになるのか、結果を含め事実をきちんと説明してもらいたいのではないか。
- 〈委員〉米だけに限定できるものではない。今までの調査結果を県から出してほしい。
- 〈東京電力〉事故の調査結果については年内に報告書が出る予定。その時点で定例会で説明したい。中間発表として発表する場合もあるかもしれない。
新潟県内の環境試料の放射線測定結果(4. 5. 6月)を9月の定例会で報告する。また発電所周辺の断層評価の報告もしたいと考えている。
- 〈委員〉県の技術連絡会の評価結果の報告もお願いしたい。
- 〈委員〉米、牛肉、野菜、汚泥など放射線の数値だけでなく根拠も示してほしい。
- 〈委員〉東京電力には8月の電力使用状況を資料として出してほしい。
- (委員賛成)

◆委員質問・意見等について

- ストレステスト一時評価で想定を超える事象として、直下断層(α 、 β 等)や真殿坂断層の活動を加えて検討すること。不要とするならその理由は何か。
- 〈保安院〉ストレステストについて前回でも説明したが想定している地震の何倍まで耐えられるか評価するという事なので前回以降の動きの中で回答したい。

〈東京電力〉次回文書で回答したい。

○東京電力は、ベントは協定外のことで県との協議は不要としている。県はどう住民の理解を得るのか。→次回、県より回答してもらう。

○7月運営委員会の中で、今後の原子力の方向付けの為の地域の会のあり方について検討すべし、との意見があったことから、委員全員の意見聴取のため臨時会開催を望む。
〈会長〉会の役割や趣旨のことを再度説明し口頭で回答したい。(次回定例会で会長が口頭回答)

○放射線の人体への影響や内部被ばく、チェルノブイリの例などを含めて菅谷昭氏（松本市長）の話しを聞ける機会を作してほしい。
〈会長〉いずれ勉強会など委員の意見を聞きながら検討したい（次回定例会で会長が口頭回答）

【決定事項】

・10月定例会については9月の運営委員会にて協議

〈9月7日定例会・タイムスケジュール（案）〉

18:30～19:00	前回からの動き（東京電力、保安院、エネ庁、行政）
19:00～19:10	断層評価（東京電力）
19:10～19:20	委員から意見
19:20～19:30	発電所周辺のモニタリング、放射線の測定結果（東京電力）
19:30～20:00	環境試料の放射線測定評価（新潟県）
20:00～21:00	意見交換（一人2分）、その他

次回運営委員会日程について

・9月14日（水）18:30～ 柏崎原子力広報センターにて